

劇遊び

「もも組忍者とカラスの物語」

ねらい

○感じたことや思ったことを言葉や体を使って表現し、忍者になって遊ぶことを楽しむ。

○友達と表現を見たり、言っていることを聞いたりしながら、一緒にお話の世界で遊ぶことを楽しむ。

① 好きな遊びの時間でのごっこ遊び！

お話の世界と現実の世界をいったりきたりしながら、いろいろな場面で遊んでいます。

イメージをふくらませ、友達と言葉のやりとりや、イメージを共有することを楽しんでいます。

羽をつけて、カラスに変身！



卵が生まれたよ。羽で温めて、育てよう！生まれてくるのが楽しみ。

カラス達の家は、ある日はフェニックスの木の元だったり、フープを集めてつくったところだったりして遊んでいました。でもどこへいくにも卵の入った巣のかごは手元に。毎日卵の様子を見ていたある日、卵が割れ、頭が見えた次の日2羽のカラスが誕生し、雛も大きくなりました。巣も大きくなり、雛を育てるごっこ遊びを楽しみ



カラスの生活に興味・関心をもち、羽を広げて跳び、カラスの子育てが始まった。本物じゃないけれど、疑似体験をすることで、気持ちはずっかりお父さんとお母さん。園庭や部屋から本物のカラスを見つけるたびに、「カラスや」「お～い！」と手を振ったり、「家の側で見たよ」など話題に。お話の世界を通して、自分達の身近な生活と同じように、カラスはご飯を探して食べたり、子どもを育てているんだということを感じるように。ほっこり優しい気持ちが芽生えてきました。

② 遊んだことをつなげて、お話をつくっていこう！



忍者走り



剣の修行

① 忍者村には、もも組忍者が住んでいました。強くて困った時には助けられることができる優しい忍者になるために、毎日修行をします。



変身の術

一人や友達といろいろな物に変身するのが楽しい！



分身の術



②そんなある日、カラスがもも組忍者の食べ物を取りに来たり、つつきに来たり…。困った忍者は、忍者の家の屋根の上にあるカラスの巣まで、忍術を使って、カラスがどうしてそんなことをするのかを聞きに行くことに

まずは石垣を渡って！



「もも組忍者の仲間だとわかるように、桃の印をバンダナにつけることにしたよ」「遊んだ後の片付けも忘れない



一番上の屋根までは、綱渡りの術。渡り方もいろいろ。



屋根の上の巣まで来たら

変身の術でカラスに気付

かれないように！



みんなで遊んできたことがつながってお話になっていく、おもしろさを感じ、一人一人が場面にあった言葉や体を使って動きを表現する楽しさを感じています。お話の中で、自分がしたいことをしながら、友達と一緒にすることをたくさん楽しみました。カラスの気持ちを知った忍者たちは、どうするの